

平成 26 年度 大学院大学設置可能性調査事業の報告について

総合政策部企画課

1 事業目的

当地域における大学院大学の設置可能性を、「デザインの持つ可能性調査」と「模擬大学院大学の試行による可能性調査」を通じて検証する。

2 事業内容

高等教育機関の設置や事業を構想できる人材育成に関し専門的な知識や経験を有する「事業構想大学院大学」に事業委託し、以下のとおり実施した。

(1) デザインの持つ可能性調査

「デザイン系大学院大学の設置を考える会」など地域の関係者との対話やディスカッションを取り入れたシンポジウム及びワークショップ等を通じて、当地域における高等教育機関のあり方、デザインの持つ可能性及びこれからの時代における必要性に関する議論や理解を深めた。

○第 1 回シンポジウム (・平成26年12月20日 ・参加者数：約250名)

テーマ：「知との集積を地域に～南信州における高等教育のあり方について考える～」

内 容：・基調講演「地域をデザインする」 講師：清成忠男(事業構想大学院大学学長)
・パネルディスカッション「知と産業の集積を地域に」

○第 2 回シンポジウム (・平成27年3月8日 ・参加者数：約100名)

テーマ：「デザイン・パワー ～デザインとはなにか、デザインに何ができるのか」

内 容：・特別講演「デザインの力」 講師：北川原 温(建築家・東京藝術大学教授)
・トークセッション「デザイン・パワー」 (参加者数：250名)

○ワークショップ (・平成27年2月11日 ・参加者数：20名)

テーマ：「南信州における高等教育のあり方について考える」

内 容：大学設置をめぐる環境変化と可能性に関する報告、目指すべき高等教育機関のあり方に関するディスカッションの実施

(2) 模擬大学院大学の試行による可能性調査

事業を構想できる人材を育成するために、模擬的に大学院大学を開校し、事業構想大学院大学の教育・実践プログラムを活用したプロジェクト研究を実施した。

27名の応募があり、15名を研究員として選抜し、1回につき3時間(2コマ)の計12回(24コマ)の講義・演習を、飯田と東京で実施した。

講義・演習は、専任教授のほか大学院大学の人的ネットワークを活かし、各分野の最先端をいくゲスト講師による講義やディスカッションなどを取り入れながら実施した。

各研究員は、専任教授等の指導を受けながら、最終的に自身のテーマに沿った「事業構想案」を作成した。

なおプロジェクト研究の日程、内容等は、別冊「飯田市大学院大学設置可能性調査事業実施報告書」9ページを参照のこと。

3 調査結果

(1) デザインの持つ可能性調査

①デザインの持つ可能性や必要性に関する認識を深めることができた。

裏面へ

- ②リニア中央新幹線開通を見据え、当地域への「知と産業の集積」や「高等教育機関の必要性」を共有することができた。
- ③大学設置をめぐる現状などについて、理解を深めることができた。
- ④大学院大学の設置に向けては、デザイン系という方向性について共有ができた。今後は「飯田で学ぶデザインとは」等の具体的な姿やコンセプトについて、更なる議論が必要であることが確認された。

(2) 模擬大学院大学の試行による可能性調査

- ①地域における「専門的な教育」に対する潜在的な需要があることが確認された。
- ②プロジェクト研究を通じて、アイデアを事業化するために必要な視点や考え方などの理解につながった。また、具体的な事業へと発展した事例もあり、高度専門職業人の養成を目的とした大学院大学による専門的な教育研究活動を当地域で実践することで、地域に事業を構想できる人材（事業構想家）が生まれる可能性があることが示された。
- ③リニア時代や地方創生に向け、事業を構想できる人材の本格的な育成の必要性が示された。

4 総括と今後の方向性

大学院大学設置に向けては、コンセプトの明確化や具体的な設置方法など、更なる検討の必要性がある。

よって今回の調査結果を踏まえつつ、地域の検討組織である「デザイン系大学院大学の設置を考える会」を中心に引き続き検討していく。

また、模擬大学院大学の試行事業を通じて、当地域で事業を構想できる人材を育成するうえで、高等教育機関による専門的な教育研究機能の可能性や有効性が確認された。

よって今年度は、事業を構想できる人材の育成に特化した「事業創生人材育成事業」として、事業構想大学院大学と連携しより専門的な教育研究内容で実施する。

5 平成27年度事業創生人材育成事業の取組状況

(1) 目的

地方創生やリニア中央新幹線開通を見据え、地域の様々な分野でイノベーション（地域が自立する原動力）を創発することができる「事業構想力を有した人材」を育成する。

(2) 内容

昨年度の調査事業を踏まえ、事業構想力を有した人材の育成に関し、専門的な教育・研究プログラムを有する事業構想大学院大学に委託し実施する。

事業構想に必要とされる「発・着・想」から「構想計画」策定までの一連の教育・研究を、事業構想大学院大学の教育課程の要諦を用いたプロジェクト研究として約8か月間実施する。

講義・演習は、専任教授のほか大学院大学の人材ネットワークを活かし、各分野の最先端をいくゲスト講師による講義及び濃密なディスカッション等を通じて、各研究員実自身のテーマに沿った「構想計画」を策定する。

(3) 取組状況

5月1日より研究員の募集を開始し、最終的に15名の応募をいただく。

大学による書類審査及び面接を通じて、最終的に12名の研究員を採択し、6月21日よりプロジェクト研究を開始する。

来年3月上旬に、各研究員の構想計画の最終発表会を開催する予定である。